

第1章 地区の現況及び課題

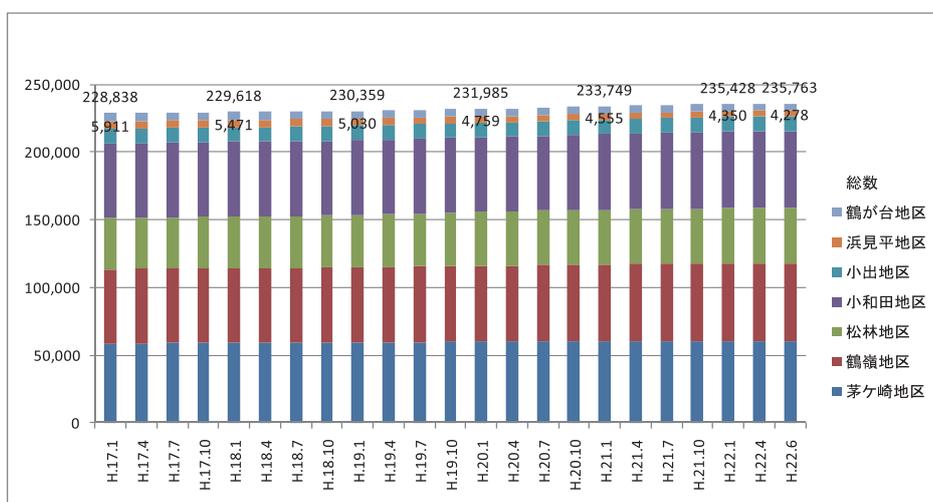
1 人口

(1) 総人口の推移

市全体の人口推移をみると、伸びは鈍化しているものの、ゆるやかな増加傾向が維持されています。一方、浜見平地区の人口をみると既に減少傾向となっておりますが、その要因としては団地建替え事業に伴う賃貸住宅の募集停止の影響が考えられます。

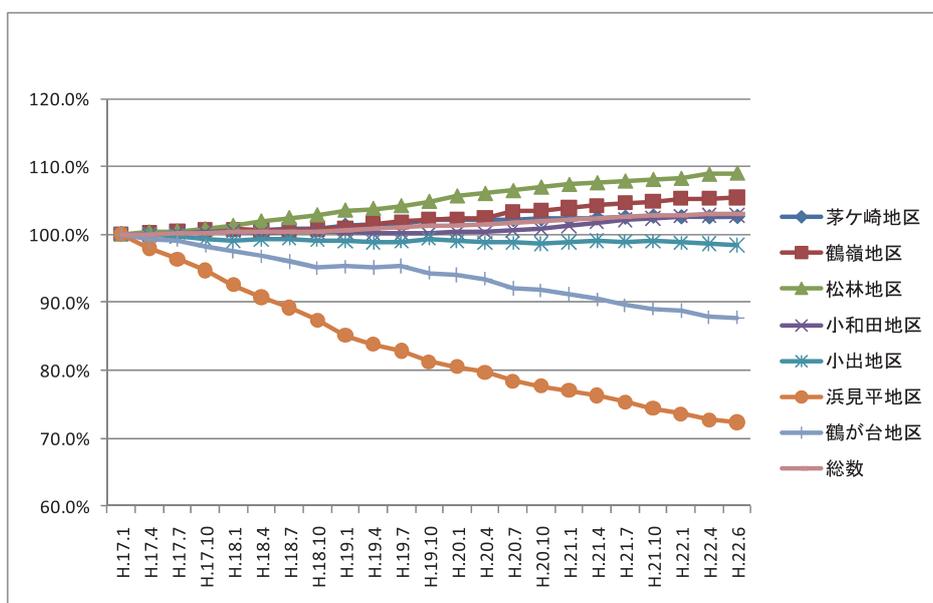
また、都市マスタープランによる市全体の将来人口推計では、平成32年をピークとして減少傾向に転じると予測されています。

浜見平地区においては将来人口需要を踏まえ、成熟型社会に向けた、「量」の確保から「質」の充実を目指すまちづくりが求められており、ゆとりある住居面積の確保やオープンスペース*の充実を図るなど、住環境の質の向上に対応していく必要があります。



■人口の推移

資料：住民基本台帳



■人口増加率の推移（基準時点：H17.1）

資料：住民基本台帳

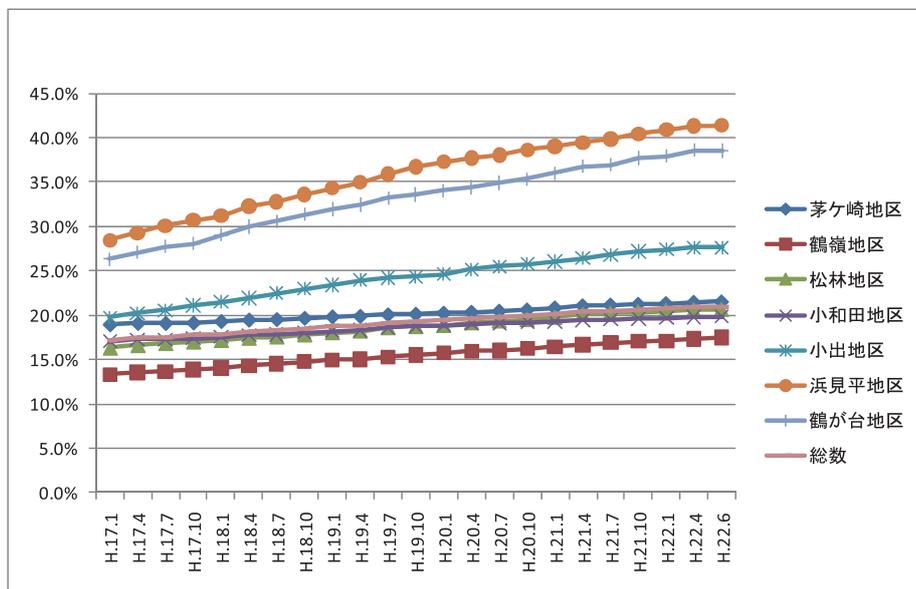
*オープンスペース：開放された空間、緑地。

(2) 高齢者人口

市の将来人口推計において、総人口は平成32年以降は減少に転じていますが、高齢者（65歳以上）人口に限っては、増加傾向が継続するものと予測されています。

現在の浜見平地区の高齢者人口の割合をみると、市内で最も高い値を示し、高齢化の進展が著しい地区となっており、今後、一層の高齢化に伴い、高齢者単身世帯の孤立化や担い手不足による住民活動の困難化など、コミュニティ*における高齢者問題の顕在化が懸念されます。

浜見平地区のまちづくりにおいては、介護等のケアサービス*やバリアフリー*への対応を図ることに加え、多様な世代が暮らし、交流し、支えあうことのできるコミュニティへと再生していくことが求められており、新たなファミリー層の入居等に積極的に対応していく必要があります。



資料：住民基本台帳

■人口に占める高齢者（65歳以上）の割合

*コミュニティ：居住地域を同じくし、利害をともにする共同社会。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきをもつ共同体。地域社会。

*ケアサービス：支援サービス。

*バリアフリー：障害者や高齢者の生活に不便な障害を取り除こうという考え方。